

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成21年12月22日			
	総事業費	35,001千円			
	交付金額	11,667千円			
	整備対象地域	あけぼの町地区、一已地区、音江地区(広里工業団地)			
	事業の内容	<p>あけぼの町地区、一已地区については、事業者設備上の問題からADSLが提供できない地域となっており、地域住民から早期の光ブロードバンドサービスによる高速化を要望されていた。また、音江地区の広里工業団地は、土地取得費100%助成制度等の施策を展開し積極的な企業誘致を進めていたが、既存企業からの光ブロードバンドサービスによる高速化要望が多いことと、新規で誘致をする企業からは、光ブロードバンドサービスが立地の条件となるなど、地域産業の振興、地域経済の活性化において光ブロードバンドサービスの確保が急務となっていた。</p> <p>このようなことから、あけぼの町地区561世帯と一已地区70世帯に対しFTTHを整備し、通信事業者にIRUで開放し超高速ブロードバンドサービスを提供するとともに、音江地区の広里工業団地へは、平成12年に整備した地域イントラネットの空き心線を利用し、同じくIRUにより通信事業者の回線と接続し、超高速ブロードバンドサービスを提供した。</p>			
BB	サービス開始日	音江地区(広里工業団地) 平成21年12月1日 あけぼの町地区、一已地区 平成21年12月25日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成22年度末	平成26年度末
	整備地域の世帯数	1,500	1,500 (5,041)	1,500	— (5,041)
	加入世帯数	220	320 (1,728)	397	— (1,737)
	加入率(%)	14.7	21.3 (34.3)	26.5	— (34.5)
<p>本市では三度にわたって地域情報通信基盤整備推進交付金事業を実施。H23年度末以降の実績値については、H20(一次補正、二次補正)とH21(一次補正)の加入世帯が同一のNTT局舎に収容されており、事業毎の集計ができない為、3事業合わせた加入世帯の実績をカッコ書きで記載する。</p> <p>事業1(H20一次補正)：整備地域の世帯数 1,500世帯 最終加入目標 320加入 事業2(H20二次補正)：整備地域の世帯数 270世帯 最終加入目標 100加入 事業3(H21一次補正)：整備地域の世帯数 3,271世帯 最終加入目標 1,308加入</p> <hr/> <p>合計 3事業合わせた整備地域の世帯数 5,041世帯 最終加入目標 1,728加入</p>					

<p>評価及び課題</p>	<p>整備対象地域の光ブロードバンド環境の整備については、整備計画において目標としていた加入世帯数、加入率を達成することができており、十分評価できる。 加入者の増加は鈍化してきているが、スマートフォンなど無線によるブロードバンド利用環境も民間事業者により整備されており、今後はそれらと適切にすみ分けながら利用がすすむものと考えられる。 高齢者などの新規加入者の中には利活用についての知識が十分でないために加入をためらうあるいは加入してもあまり使用していないケースがあると考えられることから、そのような利用者の支援が必要である。</p>
<p>今後の取組及び方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者住民向けにパソコン教室を開催する。 ・サービス提供事業者と協力して、加入手続き等に不安をもつ住民からの要請を受けて訪問による加入支援を行う。